

「情報処理」第8巻 総目次

講 演

	号- 頁
情報科学の構想.....	北 川 敏 男 1- 1
欧米を視察して.....	山 下 英 男 2- 61
警察庁における電子計算機の利用.....	戸 谷 徳 潤 4-181

論 文

代数方程式の根の分離について.....	{ 鳥 居 達 生 1- 9 吉 岡 敏 彦
規格化したランダム・ウォーク・シミュレーション.....	石 桁 正 士 1- 16
平方根の有理関数近似.....	二 宮 市 三 1- 23
自由形状曲面の理論と設計.....	穂 坂 衛 2- 65
計数型汎用シミュレーション装置.....	{ 内山辰丙, 堀川映二 菅原最介, 西木俊彦 水野幸男, 木村正信 松本顕一
計数型汎用シミュレーション装置.....	2- 73
計算機自身にプログラムを作成させる試み.....	{ 石田喬也, 安井 裕 3-121 杉山 博, 城 憲三
GPSS III を拡張してつくった汎用ヤード・シミュレータ.....	{ 中西俊男, 佐藤 章 3-131 伊藤安彦
Recursive 言語に関する一考察.....	藤 田 輝 昭 4-188
ハザードのない最簡論理回路の設計.....	{ 福村晃夫, 稲垣康善 4-194 香村 求
Variable Length Storage Allocator とその Garbage Collector.....	{ 二 村 良 彦 4-207 桜 木 邦 子
多次元線型内挿の一方式について.....	伊 理 正 夫 4-211

報 告

1966 年における活動.....	規 格 委 員 会 3-148
文部省科学研究費総合研究による「電子計算機の全国的総合利用法の研究」について.....	後 藤 以 紀 5-241
プログラミングの実習におけるマークセンスの応用.....	小 林 光 夫 5-242
FORTRAN での Format-Free な入出力.....	{ 清 水 留 三 郎 5-246 浦 部 雍 子
モニターシステムの設計と運用について.....	{ 高 田 勝 夫 5-252 牛 島 和 夫 有 田 五 次 郎
FACOM 222 による HARP ソースプログラムの 形式処理と簡単なエラーチェックについて.....	{ 柳 沢 喜 弘 5-261 当 麻
中型機による FORTRAN IV プログラムのエラーチェック.....	{ 後藤以紀, 大竹政光 5-267 石網豊子, 井上郁代
NEAC-2203 による HARP 5020 ソースプログラムのエラーチェック.....	{ 小 玉 忠 弘 5-276 鹿 野 洋 治
HIPAC 103 による HARP 5020 ソースプログラムのエラーチェック.....	{ 田中 一, 塩崎洋一 5-281 遠藤 修, 江丸敏夫 村田茂昭, 栃内香次

テープ FORTRAN とカード FORTRAN の変換	{ 高橋 理 大 泉 郎 桂 重 俊	5-291	文庫 A-1
------------------------------------	--------------------------	-------	-----------

特 集 号

オンラインシステムの応用および設計の自動化特集号について	{ 大野 豊 元 岡 達	6-303	A-2 B-3
オンラインシステムの概説	大野 豊	6-304	
企業のオンライン・コントロール・システム	吉田 浩	6-305	B-4
NHK-TOPICS におけるオンライン処理の概要	三井 信雄	6-329	
オンラインコンピューターション	和田 英一	6-338	C-5
オンラインシュミレーション	中西 俊夫	6-345	
オンムイン計算機による機械系の設計	穂坂 衛	6-355	D-6
計算機設計の自動化	元 岡 達	6-368	E-7

解 説

国税庁の ADP センターが発足するまで	竹腰 洋一	1-31	F-8
機械翻訳の一模型	西村 怒彦	2-81	
竹下氏の PL/I の解説について	COBOL 研究会	2-88	F-9 F-1

プログラムのページ

6701. Incremental step motion による境界追跡	相馬 嵩	2-96	
6702. 半線形楕円型偏微分方程式の解法	萩原 博	3-145	A-1
6703. 整級数の連分数展開	一松 信	4-216	B-1
6704. Bernoulli 数の生成	一松 信	5-298	B-1

資 料

ALGOL と FORTRAN の JIS 原案	井上 謙蔵	1-38	B-1
国産の COBOL コンパイラ	COBOL 研究会	3-140	D-1 E-1

寄 書

ヒルベルト・マトリックスの逆行列の精度	中田 育男	1-45	A-1
Runge-Kutta-Gill 法について	{ 伊理 正夫 松 谷 泰行	2-103	B-1
Hessenberg 行列の固有値	山本 哲朗	3-154	B-1
あるデータにおける ADI 法	{ 松野 隆雄 尾田 隆雄	4-219	B-1 C-1 D-1

談 話 室

夢のシンポジウム抄録	戸川 隼人	1-43	
標準函数プログラム作製上の問題点について	{ 吉山 孝馬 村 正一	2-108	D-1
日本語と COBOL	西村 怒彦	3-157	D-1
ECMA における COBOL の活動	西村 怒彦	3-161	D-1
Brookhaven 研究所にて	一松 信	4-224	ジ F-1

5-291	文献紹介	
6-303	A-1. マルコフモデルと計算機システムの 動作の数値解析 ……………	1- 47
6-304	A-2. たたみこみおよび相関の高速計算法 …	1- 47
6-305	B-3. ADAM 一般化されたデータ・ マネージメント・システム ……………	1- 48
6-329	B-4. プログラムのダイナミック・リロケ ーションについて ……………	1- 48
6-338	C-5. IBM システム 360 モデルの 67 の 時分割方式 ……………	1- 49
6-345	D-6. 60 ナノセカンド破壊読取り小容量磁 性薄膜記憶装置の設計と動作特性 ……………	1- 50
6-368	E-7. 入出力関係のオートマトンによる 実現性について ……………	1- 51
1- 31	F-8. 計算機言語の Formal Semantics とその コンパイラ・コンパイラへの応用 ……………	
2- 81	F-9. 輸送（人）の自動処理 ……………	1- 52
2- 88	F-10. 計算機による計算機設計 ……………	1- 52
2- 96	A-11. ラゲール函数を用いるラプラス逆変 換の数値解法 ……………	2-112
3-145	A-12. 代数式操作の展望 ……………	2-113
4-216	B-13. SNOBOL 3 プログラミング言語 ……	2-113
5-298	B-14. 実時間用のプログラミング言語に対 する種々の要求 ……………	2-113
1- 38	B-15. オンラインで組まれるプログラムに ついて ……………	2-114
3-140	D-16. 磁性薄膜記憶素子へのキーパの効果 …	2-115
	E-17. 印刷漢字の認識 ……………	2-115
1- 45	F-18. コンソール上の情報処理における 人間の短期記憶能力の利用 ……………	2-116
2-103	A-19. FORMAC の算法を設計した経験 ……	3-165
3-154	B-20. 生物学における図形認識 ……………	3-165
4-219	B-21. Atlas Autocode の主な特徴 ……………	3-166
	B-22. アセンブルかコンパイルか ……………	3-166
	B-23. 微分のための形式的体系 ……………	3-167
1- 43	C-24. リストむき計算機 ……………	3-167
2-108	D-25. 大容量磁性薄膜記憶装置のセンス 記号の伝搬 ……………	3-168
3-157	D-26. 連想記憶装置研究の概観 ……………	3-168
3-161	D-27. 500 ns 磁性線記憶装置 ……………	3-169
4-224	D-28. プラズマ表示パネル記憶作用を有しデ ジタルに座標指定ができる放電図形表示盤 …	3-170
	F-29. 汎用データ処理システム (ADAM) ……	3-171
	F-30. 計算機組織における多重性 ……………	3-171
	F-31. リフトウェア・デバッグ作業改善の ための論理設計——一つの提案 ……………	3-172
	F-32. 1-正規システムの決定問題の可解性 …	3-172
	F-33. 自然言語処理 ……………	3-173
	B-34. LISP 2 プログラム言語とシステム …	4-226
	B-35. COGENT プログラミングシステム ……	4-226
	C-36. マルチプロセッサ・システムにおいて 割りこみ処理するプロセッサを選ぶ方法 …	4-227
	C-37. アソシアティブ・メモリを用いた 時分割システム ……………	4-227
	C-38. 関数発生器合成のためのアリスメテ ィック・マイクロシステム ……………	4-228
	D-39. 集積回路による高速スクラッチパッ ドメモリ ……………	4-228
	D-40. 高密度化集算回路が機器構成とソフ トウェア／ハードウェアの妥協点にお よぼす影響 ……………	4-229
	D-41. 高密度集積回路の将来のコストに 関する展望 ……………	4-230
	D-42. 高密度集積回路の技術的基礎と将来 の方向 ……………	4-231
	D-43. 格子模様の重ね合わせで写真フィル ムにディジタル・データを記録するシ ステム ……………	4-231
	D-44. 大容量ランダム・アクセスメモリ用 光電技術 ……………	4-232
	D-45. 高密度集積回路におけるシステム設 計者と半導体設計者との関係 ……………	4-233
	F-46. コンテキスト・フリーな言語におけ るあいまいさ ……………	4-234
	F-47. 計算機による誤りの自動修正 ……………	4-235
	F-48. 混成計算機法を使った無作為探索に よる助変数最適化 ……………	4-235
	書 評	
	最近のリアル・タイム関係の図書について ……	1- 54
	ニュース	
	Dr. Chomsky の来日について ……………	1- 56
	Dr. Saltzer が Multics について講演 ……	1- 56
	モスクワで第5回国際数学会義 ……………	1- 56
	国鉄、郡山に自動操車場を建設 ……………	1- 56
	1966 年、日本電子計算機ショウ開く ……	1- 57

日本語コボル完成	1- 58
東大の HITAC 5020 交換	2-117
FACOM 270-30 電子計算機組織	2-117
FACOM トータリゼータシステム	2-117
Fall Joint Computer Conference 1966	2-118
第7回スイッチングおよびオートマタ理論に 関する会議	2-118
IEEE Computer Conference	3-174
電気試験所に HITAC-8400 を設置	3-174
NEAC-3100 電子計算機システムを発表	3-174
GE-635 システム東芝(株)へ	3-175
昭和 42 年電気四学会連合大会開かる	4-237
来春 1 月東京で電算機国際セミナー開講	4-237
情報処理の権威 I.L. アウエルバッハ氏来日	4-237
Spring Joint Computer Conference 1967	5-300
東芝で多種体数字用 OCR を開発	5-300
東茂(株)で手書き郵便番号自動読取 区分機を開発	5-301

本会記事

第7回大会	1- 59
月例会報告	1- 59
研究委員会報告	1- 59
研究会報告	1- 60
月例会	2-119
研究委員会報告	2-119

第5回通常総会	3-178
研究委員会報告	3-179
文献ニュース小委の改選	3-180
I.L. Auerbach 氏の講演会	4-239
月例会	4-239
研究委員会報告	4-239
教育調査研究委員会の発足	4-239
研究委員会報告	5-302
情報処理月例会	5-302

関西支部

研究会報告	1- 60
特別講演会	1-120
研究会報告	1-120
41 年度評議員会	2-120
研究会報告	3-180
支部総会	4-240
昭和 42 年度事業計画	4-240
昭和 42 年度第2回支部評議員会	4-240
研究会報告	4-240
研究会報告	5-302

会 告

IFIP Congress 68 の論文募集	1-色紙
第8回大会論文募集	3-色紙
第8回大会プログラム	6-色紙